

第四項 退職手当

一 病ノ爲メ退職スル場合ハ滿壹ケ年以上ノ勤続者ニ限り金參拾圓ヲ支給ス
一 繁忙期節ニ退職ヲ申出デタル場合ニ於テハ重ナル事由ヲ認めサル限りハ承諾セズ

第一條 扶助

第一項

職工業務ノ爲メ負傷ヲ爲シ職ニ耐ヘザルモノト認ムル時組合協定賃金壹人前分ヲ支給ス
尙ホ囑託醫ノ藥價ハ業主側ニ於テ負擔ス

但シ七日以上ニ亘ル時ハ七日ヲ以テ限度トス

第二項

私病ニ罹リ療養ヲ要スル場合ハ前項ノ半額ヲ支給ス（花柳病ハ此限りニ非ズ）
但シ二十一日ヲ以テ限度トス（藥價自辨）

第三項

前第二項ノ場合何レモ組合（雇主側）ニ於テ指定セル醫師ノ診斷書ヲ要ス

第三條 賞與

第一項 皆勤賞與

繁忙期（毎年三、八、九、十、十一、十二ノ六ヶ月トス）ニ於テ一ヶ月皆勤セル場合ハ一ヶ月金四圓ヲ贈與ス
但シ下廻リハ此分ニ限り半額トス

第四條 休日休業

第一項 定休日

定休日ハ毎日曜日正月三ヶ日春秋二期皇靈祭及天長節トス其他定休日以外ノ祭日祝日ハ各自工場ノ都合ニテ定休日振替ルコトヲ得

第二項 樽仕舞定休日

樽仕舞定休日ハ年二回トモ五日以内トス

第三項 臨時休業

雇主ノ都合ニ依リ臨時休業ヲ爲ス場合ハ組合協定賃金ノ壹人前ヲ支給ス
但シ臨時休業日數ヲ豫告シタル場合ハ十日間ニ限り支給ス

右協定條件ハ大正十一年四月一日ヨリ効力ヲ生ズ

以上協定書ハ二通ヲ作成シ各署名ノ上一通宛保管ス

大正十一年四月一日

攝州酒樽製造業組合業主代表者

小林徳次郎

尼崎合同組合長

東忠續